

## 「上小農村女性のつどい」を開催しました

1月16日に上田合庁において、「令和元年度上小農村女性のつどい」を開催しました。

このつどいは、上小農村女性団体連携会議と普及センターの共催で、新長野県農村女性チャレンジプランの目標達成に向けて、上小地域の農村女性の知識の向上と、交流を目的に開催しています。

当日は関係者を含め約100名が参加し、「たっしやで生きやしよ」をテーマに、地域で活躍している3人の方の事例発表と、講演会を行ないました。

事例発表では、東御市の滝澤栄一さんに「デジタル目線の米作りと地域づくり」と題して、プロジェクト活動で取組んだ、疎植栽培による米作りについて発表をしていただきました。

また農村生活マイスターの市川久子さんに「生活改善グループで学んだこと」と題して、普及センター主催の農村婦人学校に参加し、農村生活マイスターになって、様々な活動に取組んだことについて、ユーモアを交えて発表していただきました。

また、東御市の柳澤大作さんから「実体験からみえた『農福連携』の可能性」と題して、以前医療関係の仕事をしていた経験を生かして、障害を持った方を実際雇用することになった経緯と工夫していることについて、発表していただきました。

講演会では、日本農村医学研究所主任研究員の柳澤和也さんが、「いつまでも農作業を楽しむ」と題して、健康に長生きするための衣食住の方法や、農作業事故の防止対策についてお話をしてくださいました。農作業の合間に行うストレッチ体操など、参加者も体を動かしながらの講演会となりました。

参加者からは、「地域や世代は違うけど、農業という共通の話題で一緒に話を聞いたり、情報交換をしたりできて、大変有意義なつどいだった。これからも続けてほしい」との感想をいただきました。

来年度も引き続き開催する予定です。

